古典の仮名遣(づか)い

古典の文章は、主に平安時代中頃(ごろ)以前の日本語の発音をもとにした仮名で書かれており、これを**歴史的仮名遣い**という。これに対して、現代の仮名の書き表し方を**現代仮名遣い**という。

（例　歴史的仮名遣い　→　現代仮名遣い）
あふぎ（扇）　→　おうぎ

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すときは、次の規則がある。

①語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」
（例）あはれ→あわれ　　いふ→いう
※語頭のハ行はそのまま。
（例）ふみ（文）→ふみ
※助詞「は」「へ」などもそのまま。
（例）花の色は→花の色は

②「ゐ・ゑ・を」→「い・え・お」
（例）ゐる→いる　　こゑ→こえ　　をとこ→おとこ
※助詞「を」などはそのまま。
（例）それを見れば→それを見れば

③「ぢ・づ」→「じ・ず」
（例）なんぢ→なんじ　　いづれ→いずれ

④「くわ・ぐわ」→「か・が」
（例）くわじ（火事）→かじ　　きぐわん（祈願）→きがん

⑤助動詞や助詞の「む・なむ」→「ん・なん」
（例）あはむ（逢はむ）→あわん　　竹なむ→竹なん

⑥母音(ぼいん)（a・i・u・e・o）が連続するとき
・**au**（ア段＋う・ふ）→ **ô**
（例）やうす（様子）→ようす
・**iu**（イ段＋う・ふ）→ **yû**
（例）うつくしう（美しう）→うつくしゅう
・**eu**（エ段＋う・ふ）→ **yô**
（例）けふ（今日）→きょう

確認テスト

(1) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

にほへど　［　　　　］

(2) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

ゑひ　［　　　　］

(3) 次の中から、――線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したものとして、適当なものを選びなさい。

ア　ほのかに　→　おのかに
イ　秋は夕暮れ　→　秋わ夕暮れ
ウ　泣きゐたる　→　泣きいたる
エ　竹を取り　→　竹お取り

［　　　　］

(4) 次の中から、――線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したものとして、適当でないものを選びなさい。

ア　うるはし　→　うるあし
イ　をかし　→　おかし
ウ　よろづ　→　よろず
エ　にんぐわつ　→　にんがつ

［　　　　］

(5) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

やうやう　［　　　　］